



《竹林七賢人》(部分) 昭和43(1968)年 71歳 円通寺(新見市大佐)蔵

生誕120年・没後40年

瀧崎華峰

日本画展

2018年

11月16日(金) — 1月20日(日)

2019年

休館日：月曜(但し12/24「月」、1/14「月」は開館し、翌日休館)  
年末年始(12/27「木」～1/4「金」)

観覧料：一般500(400)円・大学生400(350)円  
中高生250(200)円・小学生150(100)円

※( )内は15人以上の団体料金  
※新見市内の小中学生は「こころふれあいパスポート」提示で観覧無料  
※高梁川流域バスポート「提示の小中学生は土日祝休日に限り観覧無料」

主催：新見市／新見市教育委員会／新見美術館

後援：岡山県郷土文化財団／公益社団法人岡山県文化連盟／山陽新聞社／産経新聞社  
朝日新聞岡山総局／毎日新聞岡山支局／読売新聞岡山支局／中国新聞備後本社  
新見市文化連盟／吉備ケーブルテレビ／備北民報社／備北新聞社／新見市観光協会



新見美術館  
NIIMI MUSEUM OF ART

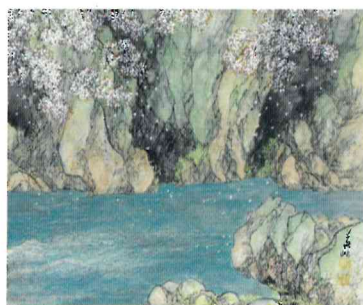
〒718-0017 岡山県新見市西方361  
TEL・FAX (0867) 72-7851  
<https://www.city.niimi.okayama.jp/usr/art/>

新見美術館

後援



《秋晴》 昭和53(1978)年 81歳



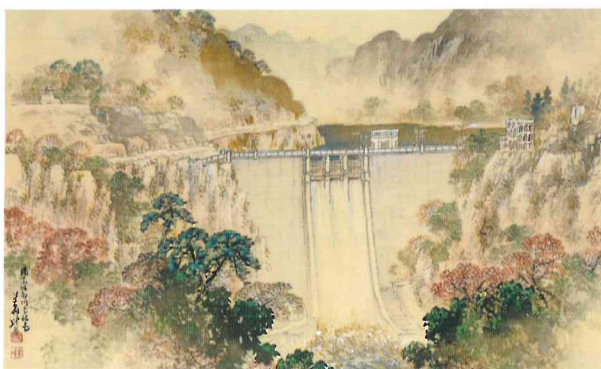
《早春図》 昭和49(1974)年 77歳



《瀧》 昭和42(1967)年頃 70歳頃



《端午》 昭和30(1955)年 58歳



《備中小阪部川ダム秋色》 昭和36(1961)年頃 64歳頃 新見市役所



《美人図》 大正9(1920)年 23歳

# 瀧崎華峰

## 日本画展

生誕120年・没後40年

瀧崎華峰は、明治30(1897)年に現在の**新見市大佐**に生まれました。大正4(1915)年、18歳の時に画家を志し名古屋に出て、南画や風俗画を学びました。その後、京都へ移り四条派の橋本菱華に師事し研鑽を積みまゝ。大正末期、西日本各地を遊学、一時松江市や真庭市勝山を拠点に活動します。昭和13(1938)年には活動拠点を新見に移し、昭和54(1979)年3月に没するまで創作を続けました。また晩年は、後進の育成にも情熱を注ぎ、新見市文化協会の設立や新見市文化展などの開催をはじめ、新見市や周辺地域を中心に岡山県北の文化向上にも尽力しました。本展では、生誕120年、没後40年を記念し、初期から晩年までの代表作、未公開作品を中心に約50点を展示し、郷土の人々や自然を愛し、描き続けた瀧崎華峰の絵画の神髄に迫ります。

### ■オープニング作品解説

日時：11/16(金) 10時

—要観覧料—予約不要—

### ■担当学芸員による作品解説

日時：12/2(日)、1/14(月) 各回14時

—要観覧料—予約不要—

### ■ワークショップ

「縁起達磨を描こう!」

日時：11/25(日) 10時~12時

講師：杉井幸正氏

(元新見美術館館長・前新見市文化連盟会長)

場所：新見美術館1階市民ギャラリー

定員：15名(先着順)

準備するもの：習字用具一式

会費：500円

(材料代を含む、但し、展覧会の観覧料は含まれていません)

※申し込みや詳細は美術館(0867-721785)までお問い合わせください。



- JR伯備線新見駅からタクシーで約5分 徒歩で約10分(徒歩)
- 中国自動車道新見インターから約7分
- 新見美術館までの順路( )
- 無料駐車場があります(乗用車30台・バス2台)